

散歩

森野 水琴

朝ジョギングをしていると、犬を連れて散歩する男を見かけるようになった。血統書付きの犬というのだろうか、いかにも品の良い犬を連れている。毎朝見かけるので、どちらからともなく会釈するようになった。

ある朝、少し遅れてジョギングに出かけた私は、いつもの場所の手前で男を見かけた。犬はというと、別の犬と仲良くしている。その犬の飼い主は女性で、男と談笑している。

すれ違いざまに男に祝福の笑みを送ると、男は女性に見えないように右手で小さくガッツポーズしている。

数日して男を見かけないようになった。あの時の女性も見かけない。犬どうしが仲良くなったおかげで、こちらで待ち合わせなくてもよくなったのだろうか、と考えるまでもなく、別の男が犬を連れて散歩している。今度はこの男を応援することになりそうだ。